

令和7年度 富山県道路安全・円滑化検討委員会

渋滞関係 説明資料

— 目 次 —

1. 渋滞対策の進め方	P 1
2. これまでの検討経緯	P 3
3. 渋滞状況のモニタリング	P 5
4. 昨年度委員会において保留とした事項	P 8
5. 主要渋滞箇所の解除・追加	P 12
5-1. 選定状況および解除・追加の考え方	P 13
5-2. 昨年度抽出した箇所の解除・追加方針	P 16
5-3. 今年度新たに抽出した箇所の概要	P 21
6. ピンポイント渋滞対策の検討	P 23
7. TDM（交通需要マネジメント）の取り組み	P 27
8. 災害時の交通マネジメント	P 30
9. 今後の進め方について	P 32

令和7年8月28日(木)

1. 渋滞対策の進め方

■ 本委員会の位置付け

出典:令和7年度道路関係予算概要 国土交通省道路局・都市局 P27

3 人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備

（５） 効率的・効果的な渋滞対策

■ 渋滞による生産性低下やCO2排出量の増加等の課題に対し、自治体等との連携強化を図りながら、渋滞の現状及び要因に合わせた効率的・効果的なソフト・ハード対策を推進します。

＜背景／データ＞

- ・全国の渋滞対策協議会において特定した主要渋滞箇所は約9,000箇所（R5.9時点）
- ・渋滞などによるロスは自動車での年間の移動時間における約4割に相当（R3年度時点）
- ・GW期間中の混雑が平日より顕著な区間※1：約2,000区間（R6）

○ビッグデータ等を活用し、時間的・空間的に偏在する課題に対して、局所渋滞対策事業※²をはじめとする効率的・効果的なハード対策やTDM等のソフト対策を実施

○渋滞対策協議会※³において、トラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、速効対策を推進するとともに、モニタリング結果に基づき更なる対策を検討

○重要物流道路において円滑な交通を確保するため、沿道の施設立地者に対して、道路交通アセスメント※⁴の実施を求める運用を継続

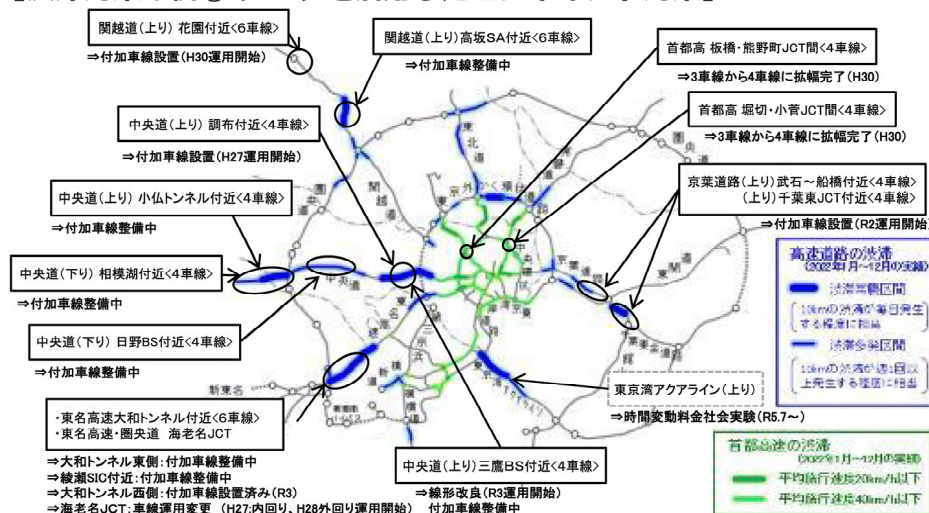
○全国各地の渋滞対策の知見を踏まえ、大阪・関西万博等の大型イベント時における円滑な交通・輸送の実現に資する渋滞対策や観光地の渋滞対策を促進

※1：平均所要時間が平日より1.5倍以上となる日が1日以上発生した区間

※2：参考資料P70参照

※3：各都道府県単位等で道路管理者、警察、自治体、利用者団体等が地域の主要渋滞箇所を特定し、ソフト・ハードを含めた対策を検討・実施するために設置

「渋滞対策の例①」 データを活用したピンポイント対策



大都市圏の高速道路における、ETC 2.0 等のビッグデータを用いたピンポイント対策の実施（事業中 14 箇所）

〔渋滞対策の例② 鈴鹿F1グランプリ〕



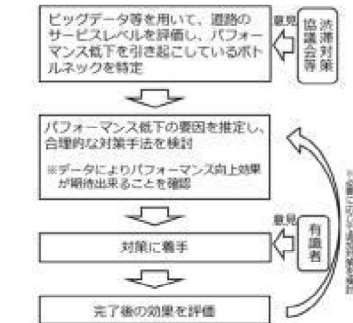
バス専用レーン設置



道の駅での情報提供

国道の通行規制及び臨時シャトルバス専用レーンとしての運用、道の駅や大会会場でチラシやデジタルサイネージを利用した渋滞状況や推奨ルートの情報提供等の対策を実施（R6.4）

〔局所渋滞対策事業の流れ〕



※4：立地前に周辺交通に与える影響を予測し対策を実施することで、既存の交通に支障なく施設を立地させるとともに、立地後に交通状況が悪化した場合の追加対策について検討

2. これまでの検討経緯

2. これまでの検討経緯

■ これまでの検討経緯と今回の議論のポイント

これまでの主な議論内容	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/ R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
① 主要渋滞箇所関連														
主要渋滞箇所の特定および公表	→	↓												
渋滞対策基本方針の策定		→	↓											
渋滞状況のモニタリング			↓	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→ 継続
主要渋滞箇所の解除・追加方針(案)			↓	→	↓									
主要渋滞箇所の解除・追加検討					189箇所 (当初)	解除12箇所 追加 7箇所	→	解除4箇所 追加2箇所	解除2箇所 追加1箇所	→	解除2箇所 追加0箇所	→	解除0箇所 追加0箇所	→ 継続 179箇所 (R6末時点)
主要渋滞箇所の評価手法の見直し												→	→	→ 検討中※
② ピンポイント渋滞対策														
対策実施予定および 対策効果等の紹介						→	→	→	→	→	→	→	→	→ 継続
						国道8号 江尻高架橋 接続部(西)	国道8号 安楽寺(西) 交差点	国道8号 四屋交差点	国道41号 掛尾町交差点	(主)小矢部伏木港線 高岡北IC入口交差点			国道156号 清水町交差点	
③ 局所渋滞対策														
対策候補箇所の選定方針(案)													→	→ 継続
④ その他の視点													局所渋滞対策 の進め方	
関連事業の紹介 (道路開通による整備効果 等)				→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
				道路開通による影響(入善黒部BP等) 大型商業施設の開業による影響 等			道路開通による影響(砺波東バイパス等) 能越道の料金変更に伴う交通状況の変化 等							
道路交通アセスメント関連														
コロナ情勢における交通分析														
災害への対応 (被災状況、マネジメント方針 等)									→	→	→	→	→	→ 継続
									国道41号 通行止め	災害時の交通 マネジメント				
TDM(交通需要マネジメント)									→	→	→	→	→	→ 継続

【今回の議論のポイント】

※「主要渋滞箇所の評価手法の見直し」に関しては、今後、勉強会等を別途開催予定。

① 主要渋滞箇所関連

- 渋滞状況のモニタリング
- 主要渋滞箇所の解除・追加検討
 - ・過年度抽出した箇所の解除・追加方針
 - ・最新データによる新規抽出結果

② ピンポイント渋滞対策

- (主)小矢部伏木港線 高岡北IC入口交差点の検討状況

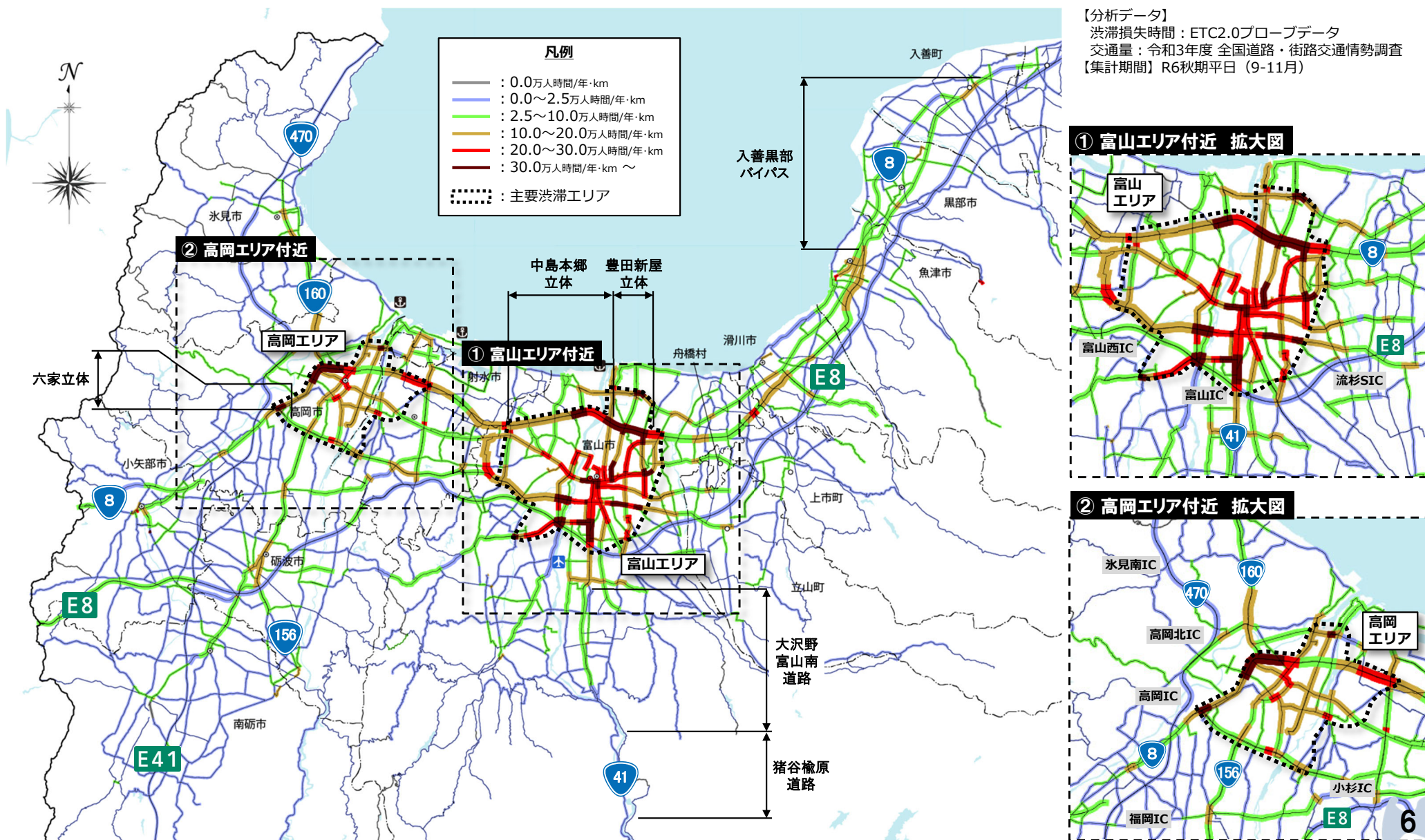
③ その他の視点

- 災害時の交通マネジメント(令和7年2月の寒波への対応状況)
- TDM(交通需要マネジメント)の検討状況

3. 渋滞状況のモニタリング

(1) 渋滞損失時間の発生分布

- 富山県内の渋滞損失時間が多い区間は、富山市や高岡市の市街地を中心に広がっている。
- これら市街地の主要渋滞エリアにおける渋滞緩和・解消に向けては、個別のハード対策だけでなく、TDM(交通需要マネジメント)等のソフト対策も含め、面的に対策を検討していく必要がある。

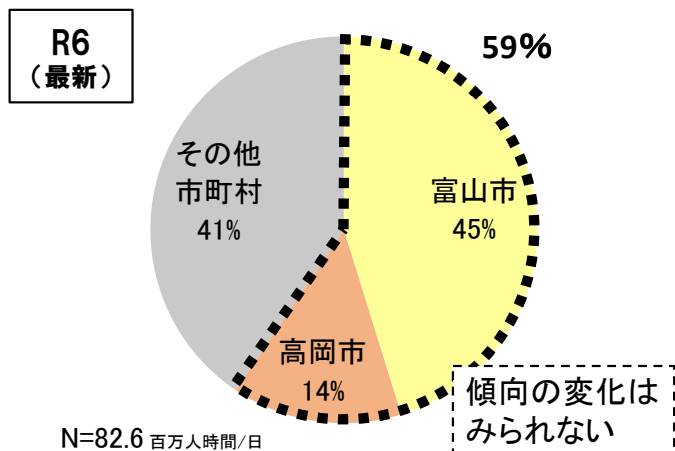
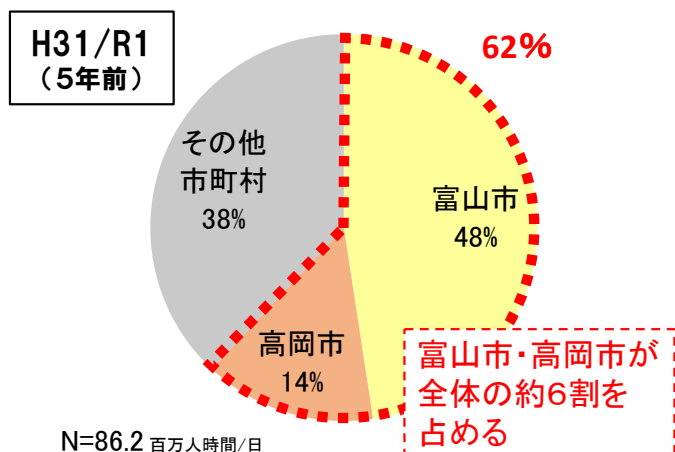


3. 渋滞状況のモニタリング

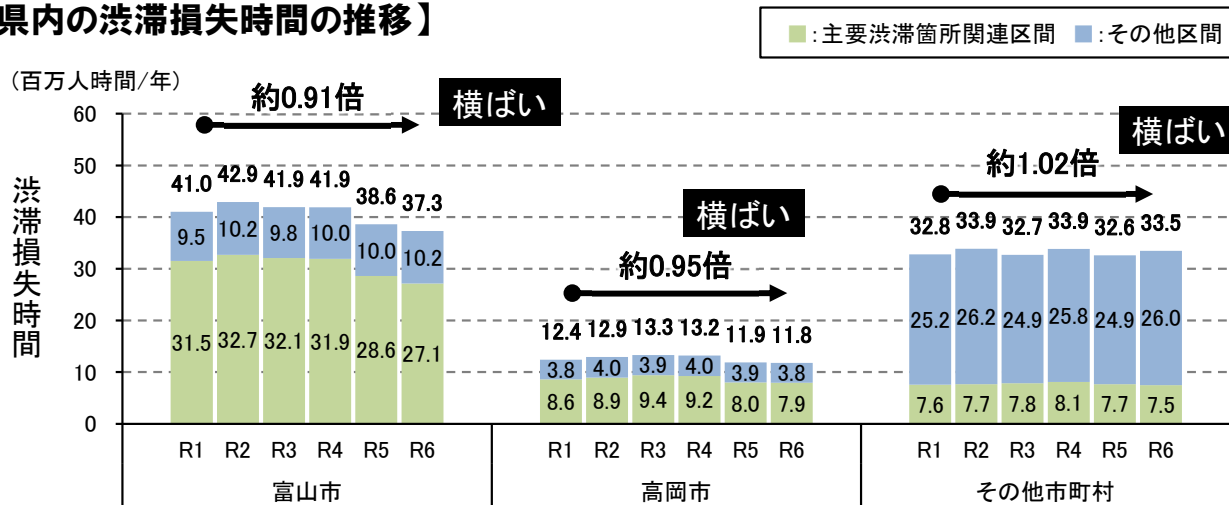
(2) 渋滞損失時間の経年比較

- 富山県内の渋滞損失時間は、富山市および高岡市が全体の約6割を占め、5年前と比べて傾向の変化はみられない。
- 令和元年度以降、富山市、高岡市およびその他市町村ともに、渋滞損失時間は概ね横ばいで推移。
- 県全体の渋滞損失時間のうち、上位10%の交差点が約半分を占めており、その多くは主要渋滞箇所に登録済み。

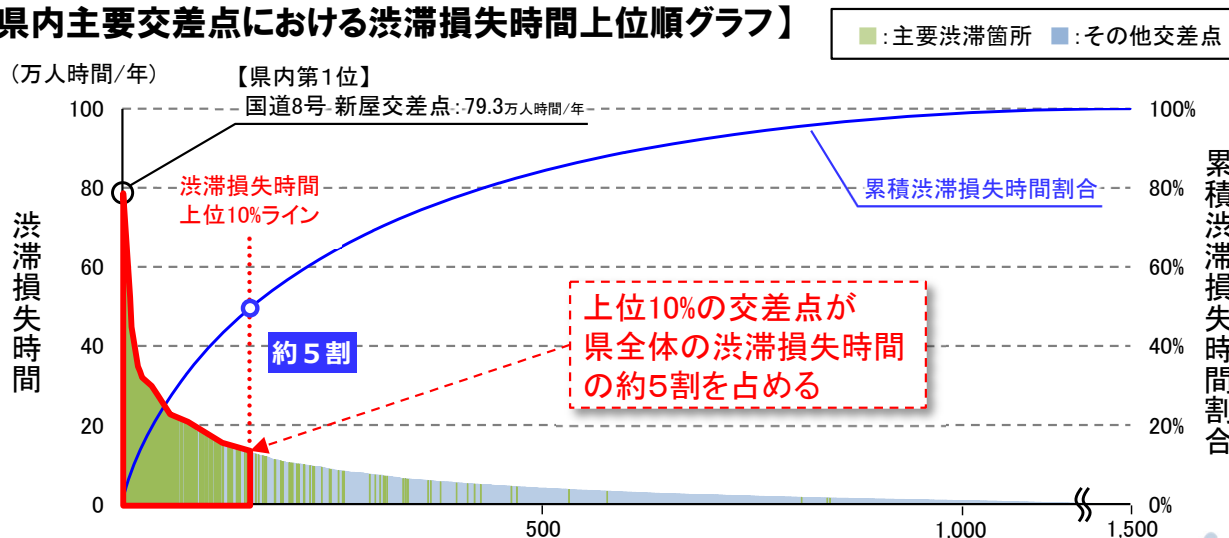
【県内の渋滞損失時間の発生分布】



【県内の渋滞損失時間の推移】



【県内主要交差点における渋滞損失時間上位順グラフ】



※対象箇所: 富山県内における交通調査基本区間全区間 (一部市道を含む)
分析データ: 国総研 渋滞損失時間データ、ETC2.07 プローブデータ (各年9月~11月平均)

※集計対象: 富山県内主要交差点 約1,500箇所 (国土技術総合研究所定義交差点+その他主要交差点)
分析データ: ETC2.0プローブデータ (R6.9月~R6.11月平均)、令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査

4. 昨年度委員会において保留とした事項

令和5年度 解除候補箇所

国道8号 安楽寺(西)交差点の解除方針について

（１）令和5年度 解除候補箇所の概要

【渋滞緩和要因】ピンポイント渋滞対策(右折レーン延伸)の実施に伴う交通混雑の緩和。

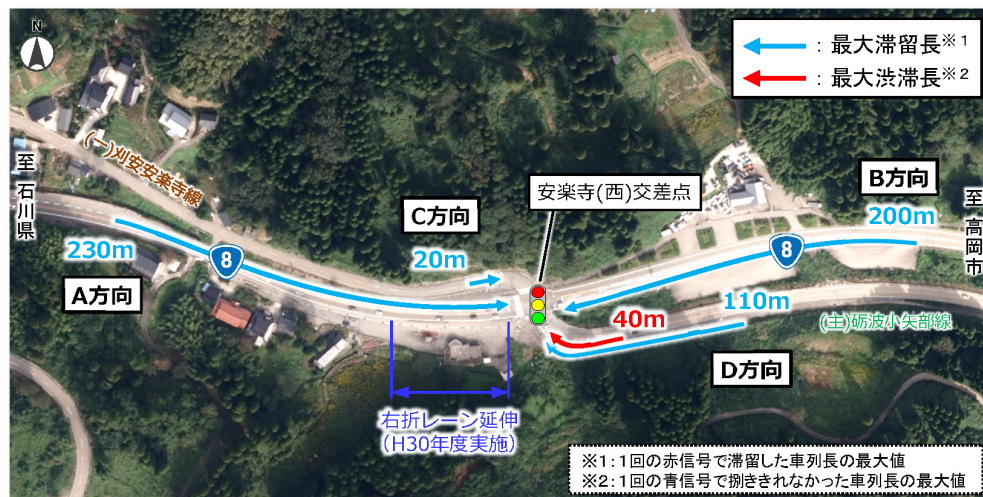
【現地確認】現地確認の結果、平常時においては平休日ともに目立った渋滞は発生していないことを確認。

【その他】令和6年のGW期間中、安楽寺(西)交差点付近において交通混雑を確認。(見える化マップより) - 今回報告

【対応方針】GW期間中は、並行する国道359号が能登半島地震により被災し全面通行止めとなっており、国道8号の交通量が増加していたものと判断されるため、次年度再検証を行う方針としたい。(今年度の解除を保留)

【渋滞調査結果】

＜調査日時＞平日：R5.11.30（木）7:00～9:00 および 17:00～19:00
休日：R5.11.26（日）9:00～19:00



【現地状況】

R5.11.26 (日) 10:30頃撮影



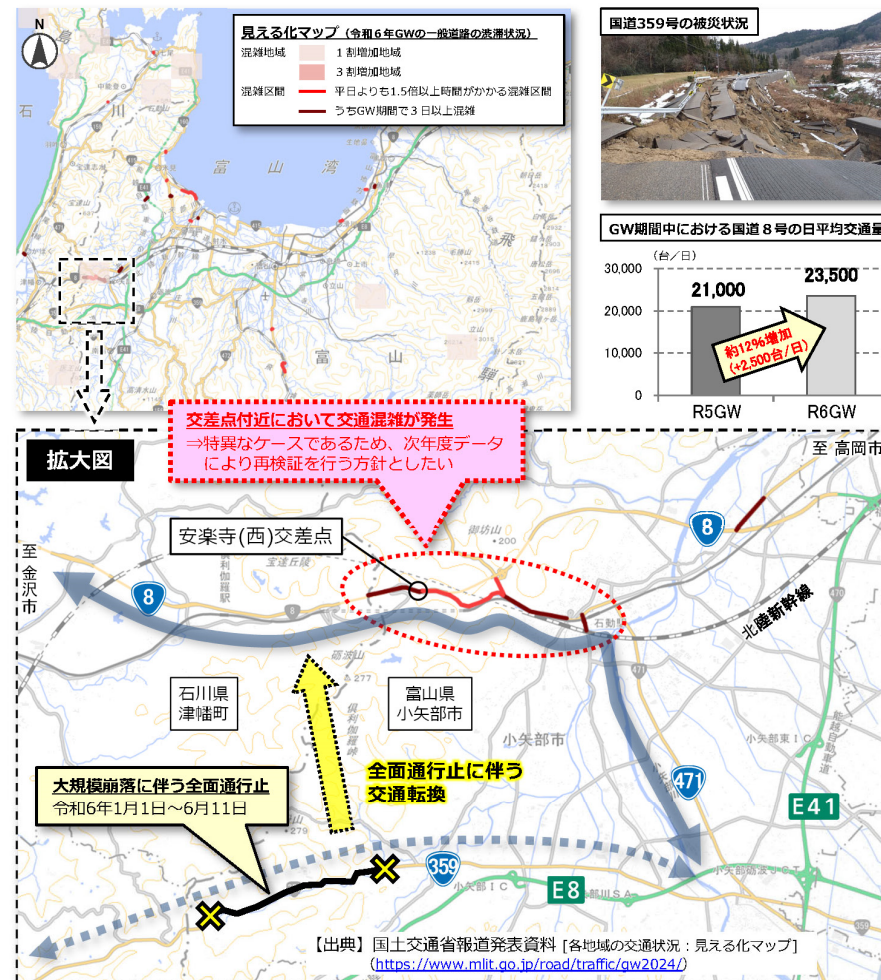
最大で230m程度の滞留長が観測されたものの、
捌け残りは無く、**渋滞には至っていない**

R5.11.26 (日) 11:00頃撮影



最大で40m程度の渋滞長が観測されたものの、一時的な発生であり、**その他目立った渋滞は発生していない**

【参考：令和6年ゴールデンウィークの一般道路の渋滞状況】

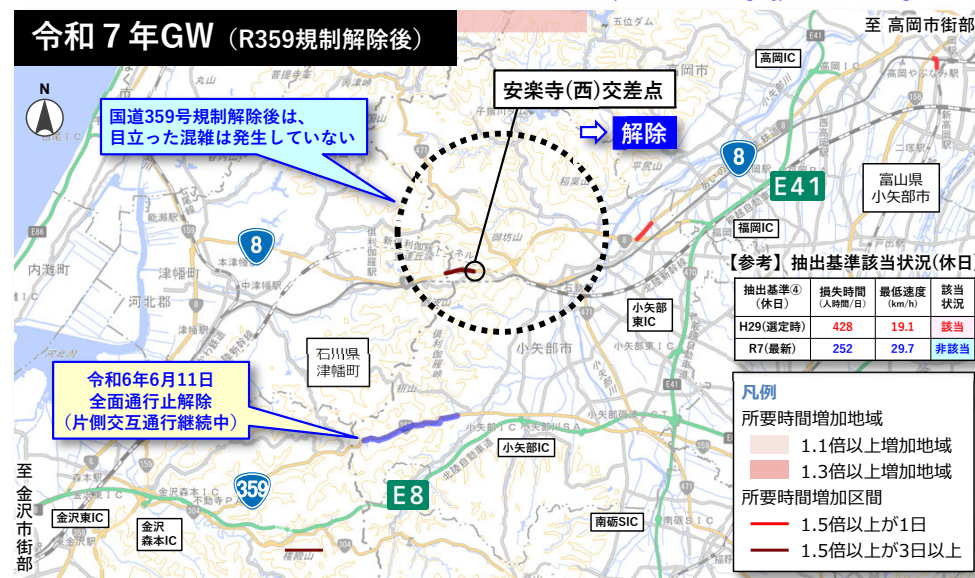
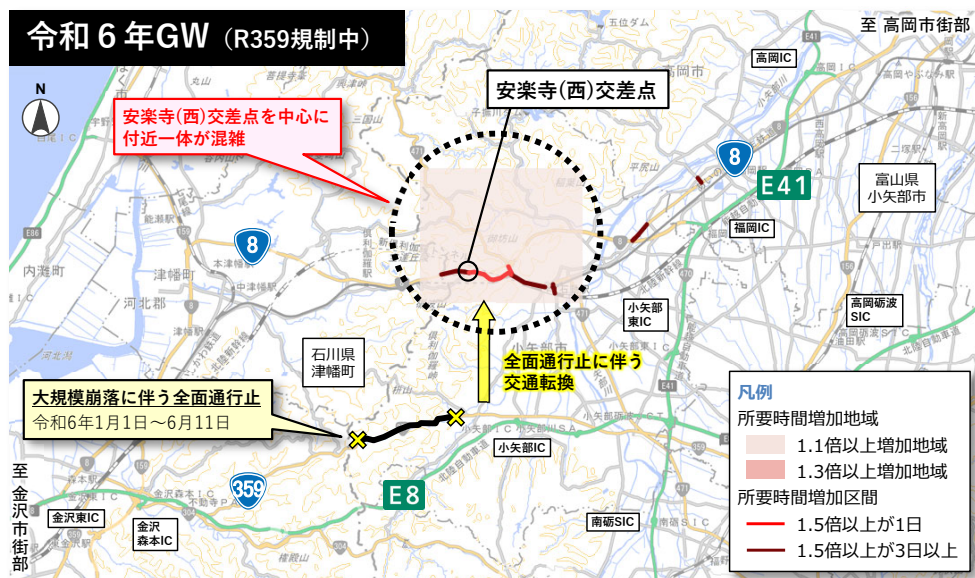


4. 昨年度委員会において保留とした事項（国道8号 安楽寺(西)交差点の解除方針について）

（2）令和5年度 解除候補箇所の判定結果

- 国道359号の通行止め解除後の令和7年GW期間は、令和6年GW期間中ほどの交通混雑はみられない。
- また、令和7年GW期間中の国道8号の交通量は、令和6年GW期間中に比べて、800台/日程度減少している。
- 以上より、令和6年のGW期間中における交通混雑は、国道359号の通行止めによる一時的な影響であったものと判断されるため、「国道8号 安楽寺(西)交差点」を解除の方針としたい。

【ゴールデンウィークの一般道路の渋滞状況】

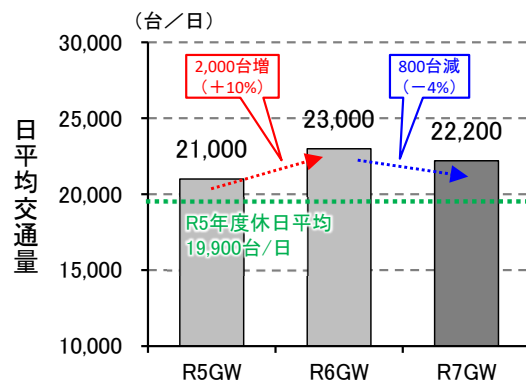


【出典】国土交通省報道発表資料 [各地域の交通状況：見える化マップ]
令和6年度版：<https://www.mlit.go.jp/road/traffic/gw2024/>
令和7年度版：<https://www.mlit.go.jp/road/traffic/gw2025/>

【参考】抽出基準該当状況(休日)

抽出基準④(休日)	損失時間(人時間/日)	最低速度(km/h)	該当状況
H29(推定時)	428	19.1	該当
R7(最新)	252	29.7	非該当

【GW期間中の国道8号の交通量】



出典：倶利伽羅トラカン交通量（確定値※）
※欠測等の異常値を補完したもの

【参考：国道359号の復旧状況】

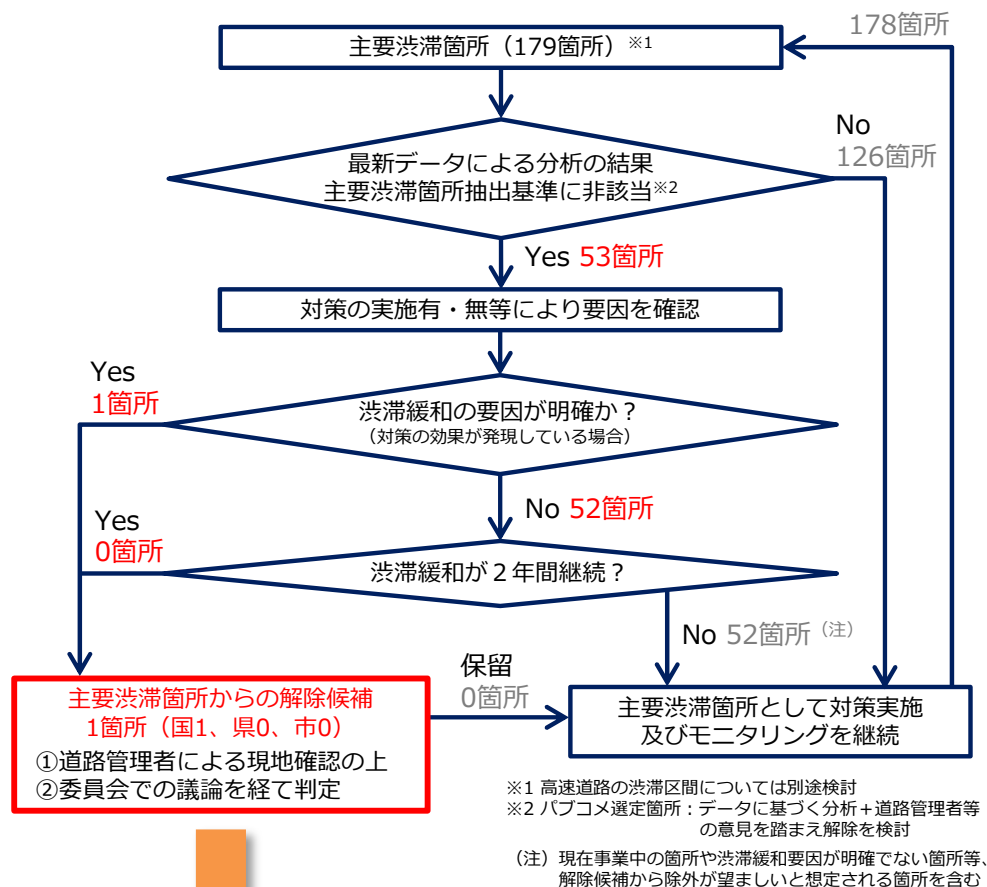


4. 昨年度委員会において保留とした事項

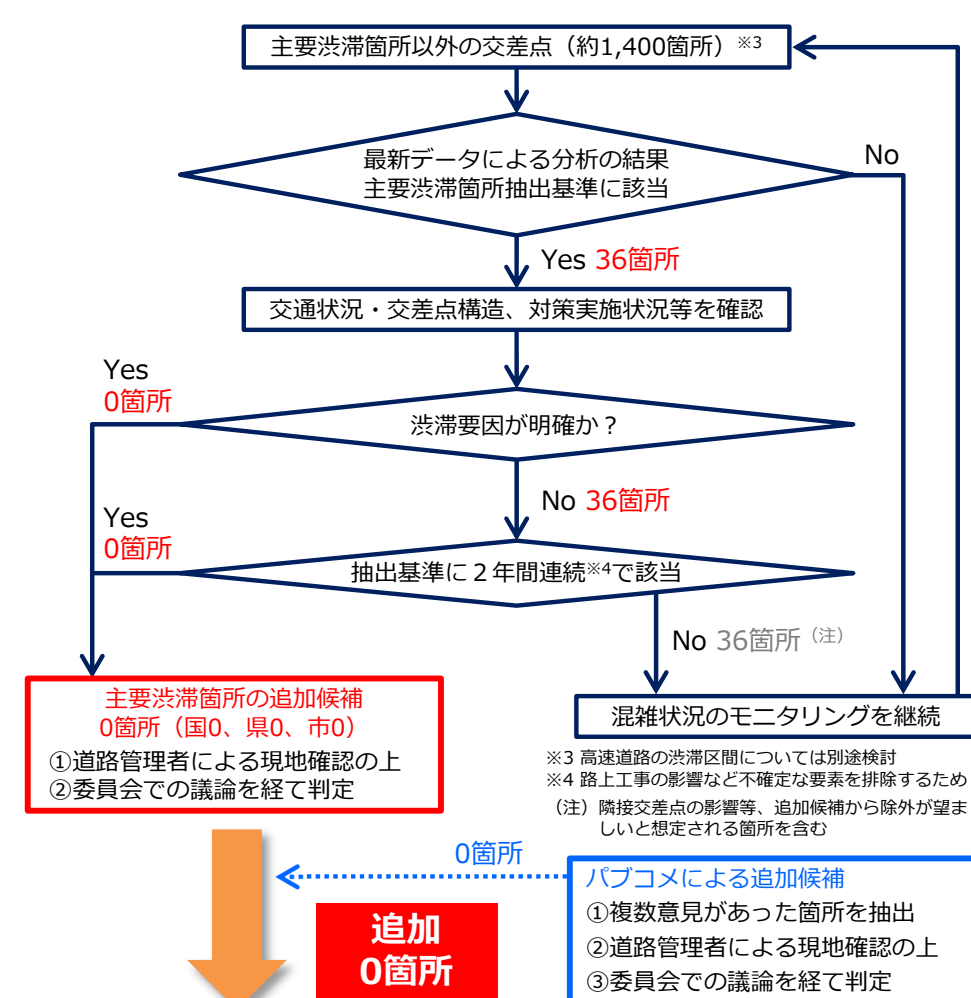
(3) 主要渋滞箇所の見直し結果（令和5年度指定）

- 現地確認結果やGWの交通状況等を踏まえ、「国道8号 安楽寺(西)交差点」を1箇所解除。
- 今後も引き続き渋滞対策を推進し、渋滞損失時間の削減に努める。

【主要渋滞箇所の解除フロー】



【主要渋滞箇所の追加フロー】



令和5年度指定 主要渋滞箇所

見直し前179箇所 → 見直し後178箇所

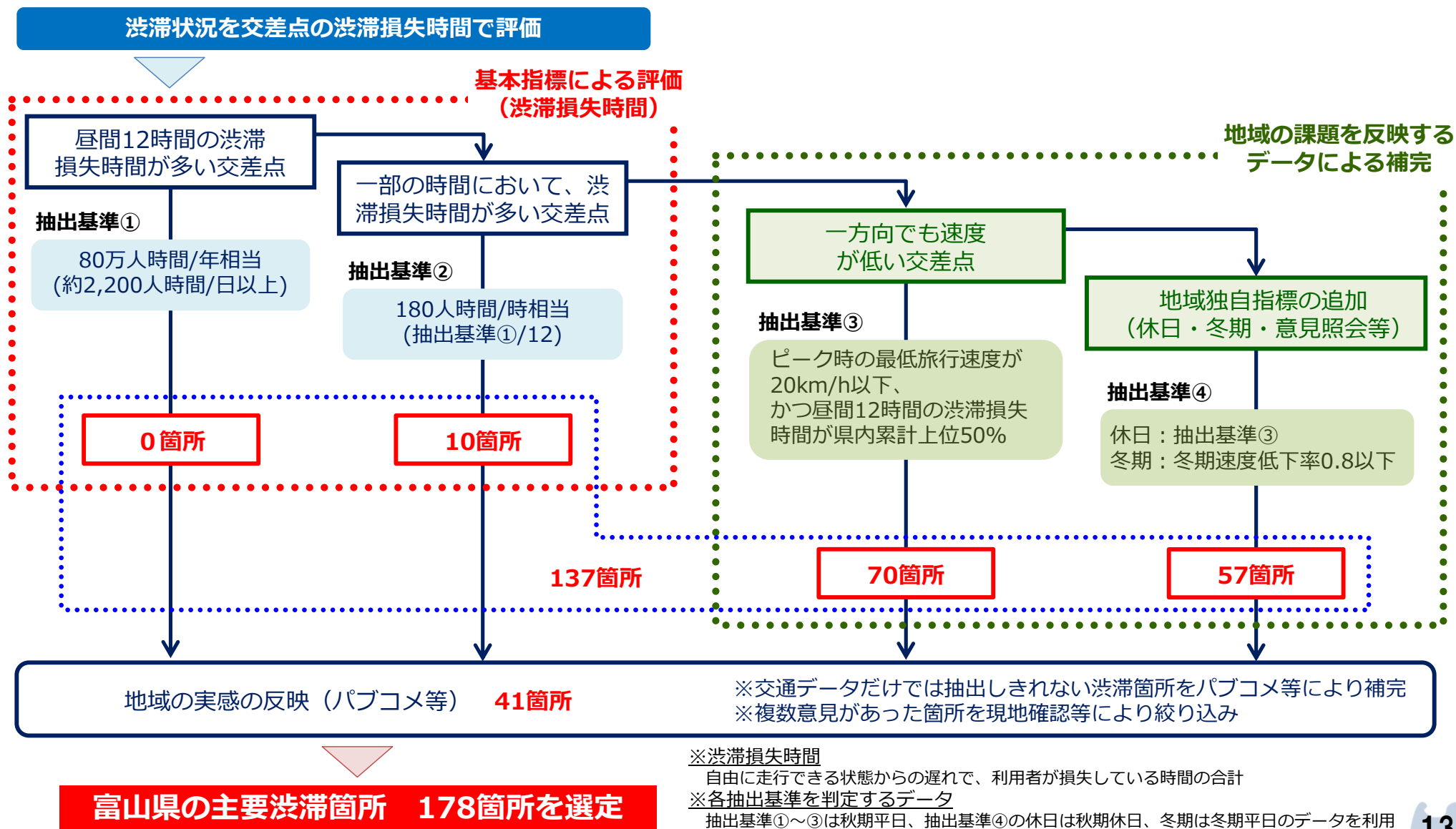
5. 主要渋滞箇所の解除・追加

5. 主要渋滞箇所の解除・追加 【5-1. 選定状況および解除・追加の考え方】

(1) 主要渋滞箇所の選定状況（令和6年度末時点）

- 主要渋滞箇所は、基本指標による評価に加え、地域の課題を踏まえた抽出基準により選定。
- 平成29年度以降、主要渋滞箇所の見直しを実施しており、現在178箇所が登録されている。

【主要渋滞箇所 選定フロー】

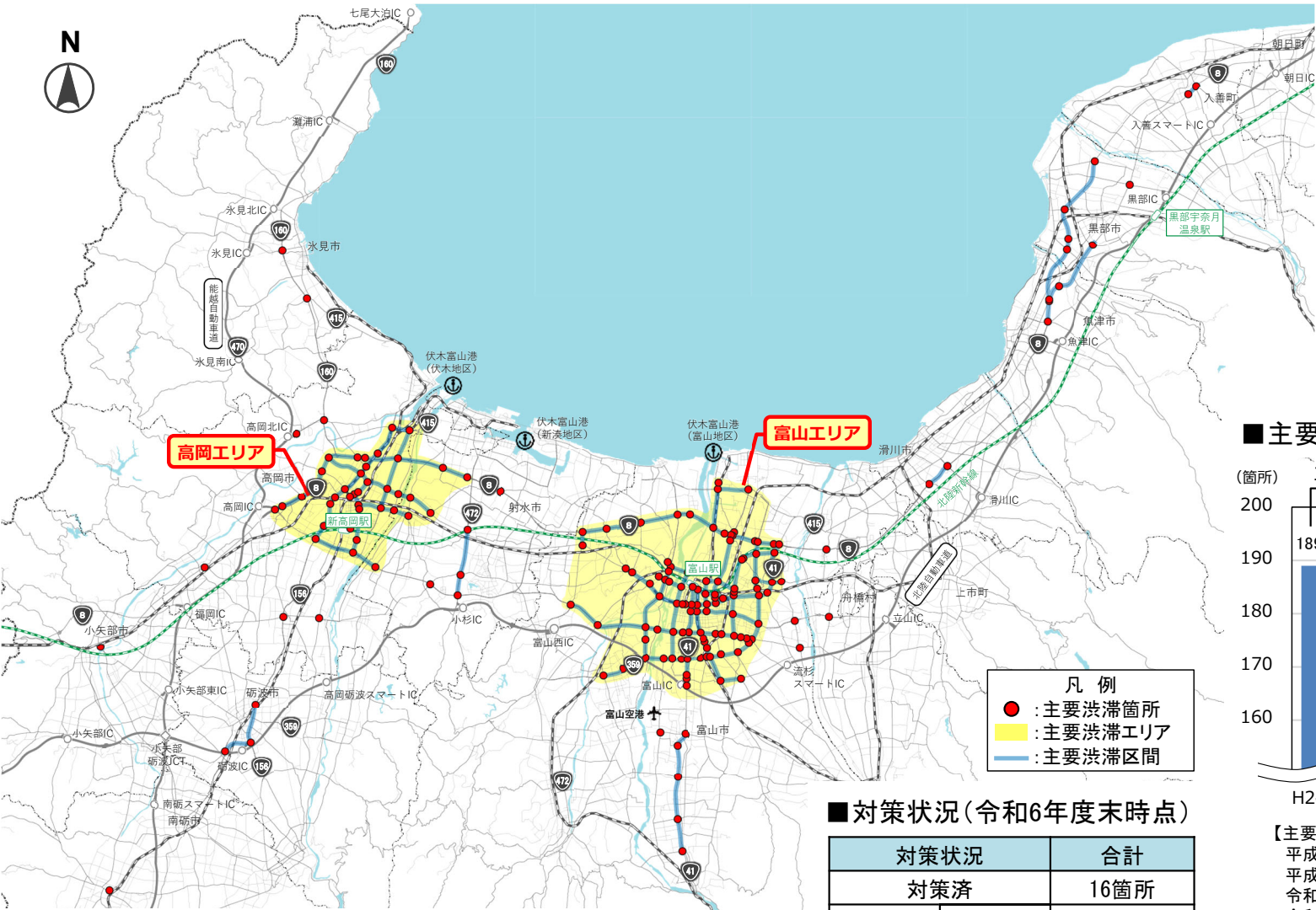


5. 主要渋滞箇所の解除・追加【5-1. 選定状況および解除・追加の考え方】

(1) 主要渋滞箇所の選定状況（令和6年度末時点）

- 富山県における主要渋滞箇所の登録箇所数は、令和6年度末時点で178箇所。
- 主要渋滞箇所は、富山エリア・高岡エリアの両市街地部を中心に多く存在。

【主要渋滞箇所 位置図】



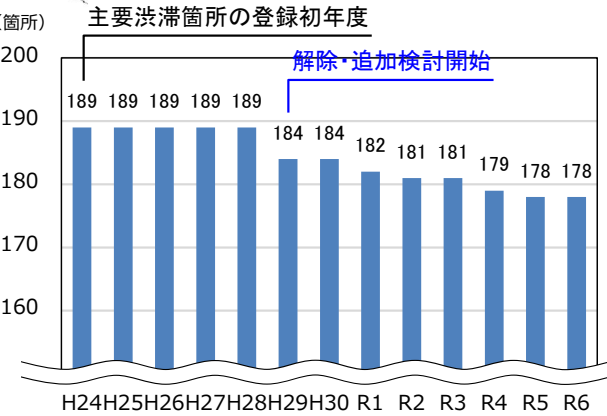
【主要渋滞エリア】
主要渋滞箇所や区間が面的に広がっており、複数路線に跨り主要渋滞箇所を含む区域

【主要渋滞区間】
交差点が連坦するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

■抽出基準別 選定状況

- 抽出基準①：0箇所
- 抽出基準②：10箇所
- 抽出基準③：70箇所
- 抽出基準④：57箇所
- パブコメ：41箇所
- 主要渋滞箇所総数：178箇所

■主要渋滞箇所数の推移



【主要渋滞箇所 解除・追加の経緯】
平成24年度：189箇所特定
平成29年度：12箇所解除 7箇所追加 計184箇所
令和元年度：4箇所解除 2箇所追加 計182箇所
令和2年度：2箇所解除 1箇所追加 計181箇所
令和3年度：0箇所解除 0箇所追加 計181箇所
令和4年度：2箇所解除 0箇所追加 計179箇所
令和5年度：1箇所解除 0箇所追加 計178箇所
令和6年度：0箇所解除 0箇所追加 計178箇所

■対策状況（令和6年度末時点）

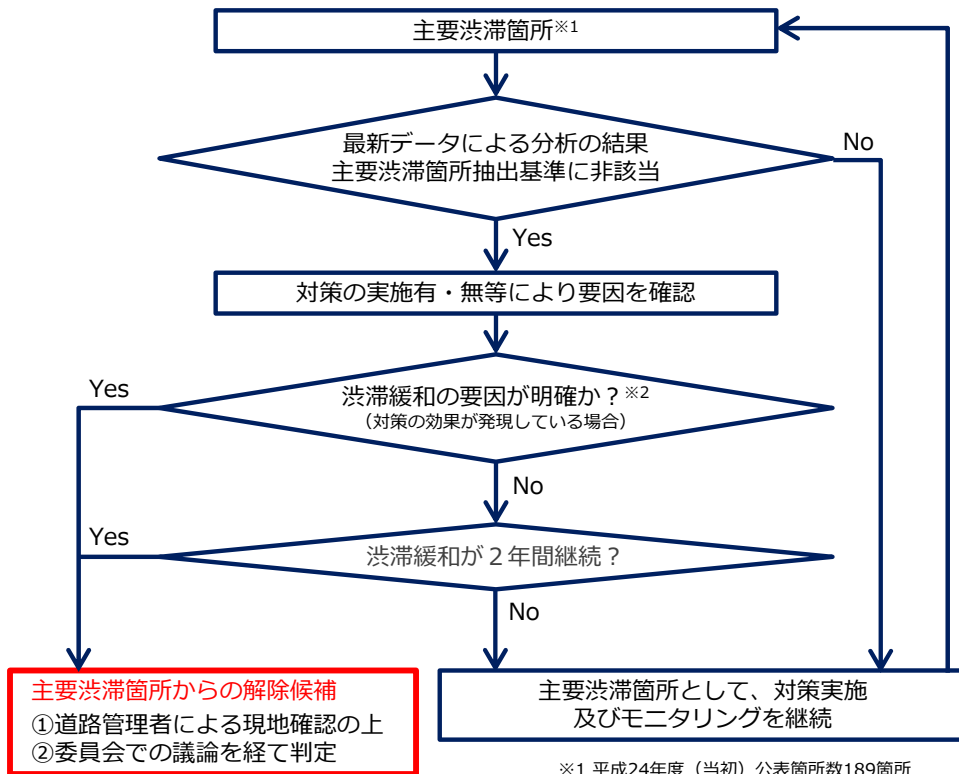
対策状況		合計
対策済		16箇所
未対策	対策中	61箇所
	検討中	101箇所
合計		178箇所

5. 主要渋滞箇所の解除・追加【5-1. 選定状況および解除・追加の考え方】

(2) 解除・追加箇所の考え方

- 富山県内の主要渋滞箇所の解除・追加は、各判定フローに基づき、最新データによる抽出基準の該当状況や交通状況を踏まえ、解除・追加候補箇所を抽出。
- 道路管理者による現地確認のうえ、解除・追加箇所を選定。

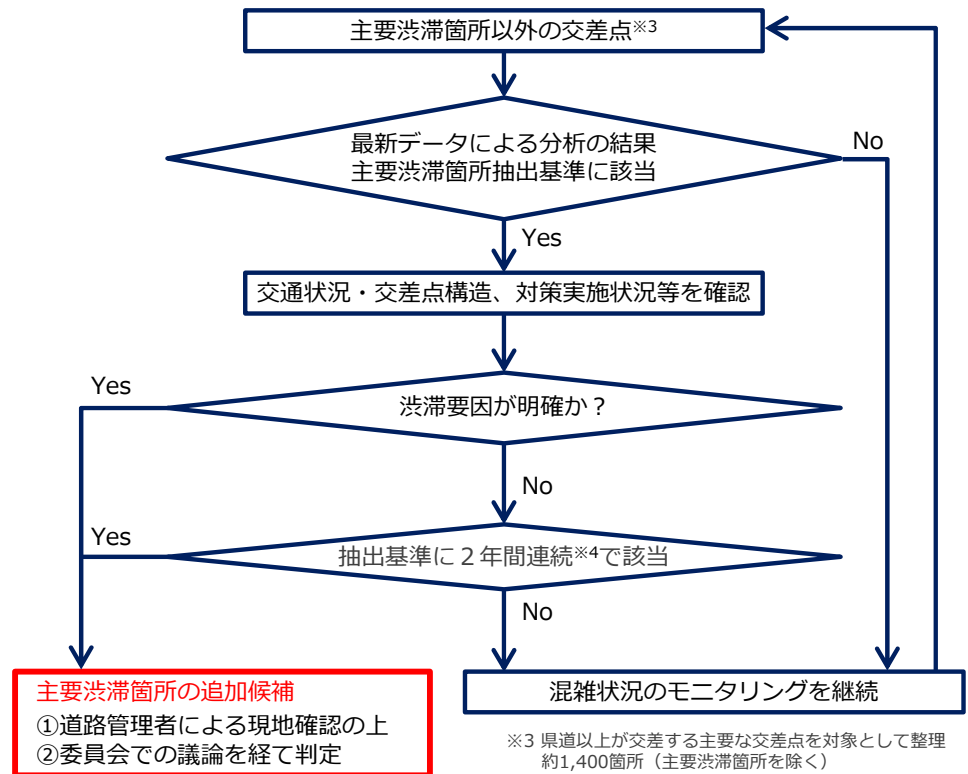
【主要渋滞箇所の解除フロー】



パブコメによる解除候補

- ①道路管理者による現地確認の上
- ②委員会での議論を経て判定

【主要渋滞箇所の追加フロー】



パブコメによる追加候補

- ①複数意見があった箇所を抽出（目安：2件／年以上）
- ②道路管理者による現地確認、データ・要因分析等を行った上で、対策の必要性を検討
- ③委員会での議論を経て判定

5. 主要渋滞箇所の解除・追加 【5-2. 昨年度抽出した箇所の解除・追加方針】

(1) 令和6年度 解除候補箇所の概要

※令和6年度委員会 資料P17に追記

- 解除候補として抽出した4箇所については、いずれも対策未実施であり、周辺環境の変化もみられないことから、**自然減による混雑緩和と判断されるが、選定時に対し渋滞損失時間が大幅に減少してきているため、解除を検討。**
- **今後、データ分析結果を補完するため現地確認を行い、実際の渋滞状況や解除の妥当性等を検証する。**

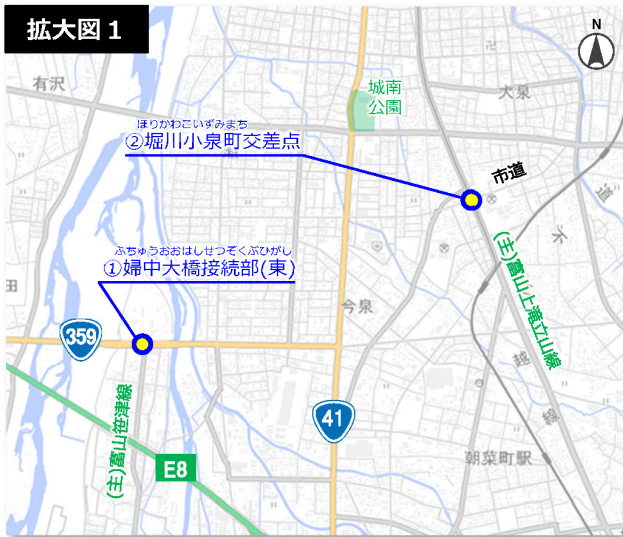
【今年度新たに抽出した解除候補箇所（4箇所）】

【主要渋滞箇所の抽出条件】
基準①：渋滞損失時間80万人時間/年以上
基準②：渋滞損失時間180人時間/時以上
基準③：渋滞損失時間県内累計上位50%以下
基準④：休日または冬期データで基準③に該当かつ冬期速度低下率0.8以下

➡ **今回報告**

解除フロー 該当状況	No.	路線名	交差点名	市町村	選定 年度	選定基準 (当初)	分析 データ	抽出基準該当状況の判定に用いる指標値						混雑緩和要因／解除理由
								【参考】H24選定時		R4		R5		
								渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	
								基準値:373	基準値:20	基準値:410	基準値:20	基準値:367	基準値:20	
渋滞緩和が 2年継続	①	一般国道359号	婦中大橋 接続部(東)	富山市	H24	抽出基準③	秋期平日	700	13.7	271	21.8	291	17.9	➤各箇所ともに対策未実施で あり、周辺環境の変化もみ られないことから、自然減に よる混雑緩和の可能性が高 いものと判断される。 ➤選定時に対し渋滞損失時間 が大幅に減少してきており、 近年継続して抽出基準に非 該当であるため解除を検討。
	②	(主)富山上滝立山線	堀川小泉町 交差点	富山市	H24	抽出基準④ (意見照会)	秋期平日	410	6.0	317	12.1	296	12.5	
	③	(主)高岡青井谷線	枇杷首交差点	射水市	H24	抽出基準④ (冬期)	冬期平日	404	5.9	276	5.2	274	7.0	
	④	(一)中川南町線	定塚交差点	高岡市	H24	抽出基準④ (意見照会)	秋期平日	380	9.5	236	16.5	209	16.4	

【解除候補箇所 位置図】



5. 主要渋滞箇所の解除・追加 【5-2. 昨年度抽出した箇所の解除・追加方針】

(2) 令和6年度 解除候補箇所の判定結果

- 昨年度抽出した解除候補4箇所について、現地確認を実施。
- ②堀川小泉町交差点については、現地確認の結果、渋滞が確認されたため、解除を保留(モニタリング継続)。
- その他3箇所(①、③、④)については、目立った渋滞や交通混雑が確認されなかったため解除判定とする。

【昨年度抽出した解除候補箇所(4箇所)】

No.	路線名	交差点名	市町村	解除判定(案)	現地確認結果
①	一般国道359号	婦中大橋接続部(東)	富山市	解除	➤目立った渋滞や交通混雑が確認されなかったため、解除
②	(主)富山上滝立山線	堀川小泉町交差点	富山市	保留	➤朝の通勤・通学時間帯を中心に渋滞が確認されたため、解除の判断を保留(モニタリング継続)
③	(主)高岡青井谷線	枇杷首交差点	射水市	解除	➤目立った渋滞や交通混雑が確認されなかったため、解除
④	(一)中川南町線	定塚交差点	高岡市	解除	➤目立った渋滞や交通混雑が確認されなかったため、解除

① 一般国道359号 婦中大橋接続部(東)



現地確認日: 令和7年6月23日

② (主)富山上滝立山線 堀川小泉町交差点



現地確認日: 令和7年7月8日

③ (主)高岡青井谷線 枇杷首交差点



現地確認日: 令和7年6月20日

④ (一)中川南町線 定塚交差点



現地確認日: 令和7年6月20日

5. 主要渋滞箇所の解除・追加 【5-2. 昨年度抽出した箇所の解除・追加方針】

(3) 令和6年度 追加候補箇所の概要

※令和6年度委員会 資料P18に追記

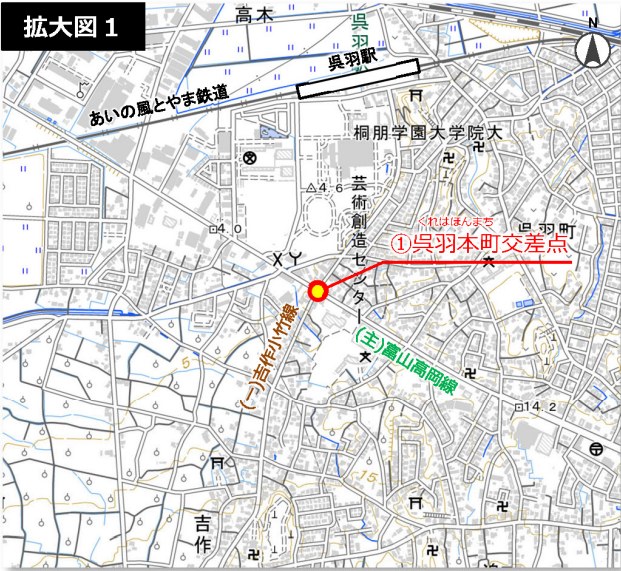
- 追加候補として抽出した2箇所については、いずれも周辺環境の変化等はみられないため、近年、交通混雑が悪化してきた要因は不明瞭であるが、**渋滞損失時間が基準値を大幅に超過**しており、優先度の高い交差点である。
- **今後、データ分析結果を補完するため現地確認を行い、実際の渋滞状況や追加の妥当性等を検証する。**

【今年度新たに抽出した追加候補箇所（2箇所）】

【主要渋滞箇所の抽出条件】				 今回報告
基準①：渋滞損失時間80万人時間/年以上	基準②：渋滞損失時間180人時間/時以上	基準③：渋滞損失時間県内累計上位50%以下	基準④：休日または冬期データで基準③に該当かつ冬期速度低下率0.8以下	
抽出基準該当状況の判定に用いる指標値				
R4		R5		

追加フロー 該当状況	No.	路線名	交差点名	市町村	該当基準	分析 データ	抽出基準該当状況の判定に用いる指標値				混雑要因／追加理由
							R4		R5		
							渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	
							基準値:410	基準値:20	基準値:367	基準値:20	
抽出基準に 2年連続で 該当	①	(主)富山高岡線	呉羽本町交差点	富山市	抽出基準③	秋期平日	639	12.0	673	13.1	➤いずれも周辺環境の変化等は見られないため、近年、交通混雑が悪化してきた要因は現段階では不明瞭。 ➤渋滞損失時間が基準値を大幅に超過しており、優先度の高い交差点であるため追加を検討。
	②	(主)富山外郭環状線	悪王寺交差点	富山市	抽出基準③	秋期平日	644	17.9	616	17.9	

【追加候補箇所 位置図】



5. 主要渋滞箇所の解除・追加 【5-2. 昨年度抽出した箇所の解除・追加方針】

(4) 令和6年度 追加候補箇所の判定結果

- 昨年度抽出した追加候補2箇所について、現地確認を実施。
- 現地確認の結果、①呉羽本町交差点および②悪王寺交差点ともに、朝の通勤・通学時間帯を中心に渋滞が確認されたため、追加判定とする。
- 今後、渋滞状況をモニタリングしていくとともに、ソフト対策・ハード対策の両視点で渋滞緩和に向けた方策を検討。

【昨年度抽出した追加候補箇所（2箇所）】

追加フロー 該当状況	No.	路線名	交差点名	市町村	追加判定 (案)	現地確認結果
抽出基準に 2年連続で 該当	①	(主)富山高岡線	呉羽本町交差点	富山市	追加	➤朝の通勤・通学時間帯を中心に渋滞が確認されたため、追加判定
	②	(主)富山外郭環状線	悪王寺交差点	富山市	追加	➤朝の通勤・通学時間帯を中心に渋滞が確認されたため、追加判定

① (主)富山高岡線 呉羽本町交差点



現地確認日：令和7年6月27日

② (主)富山外郭環状線 悪王寺交差点



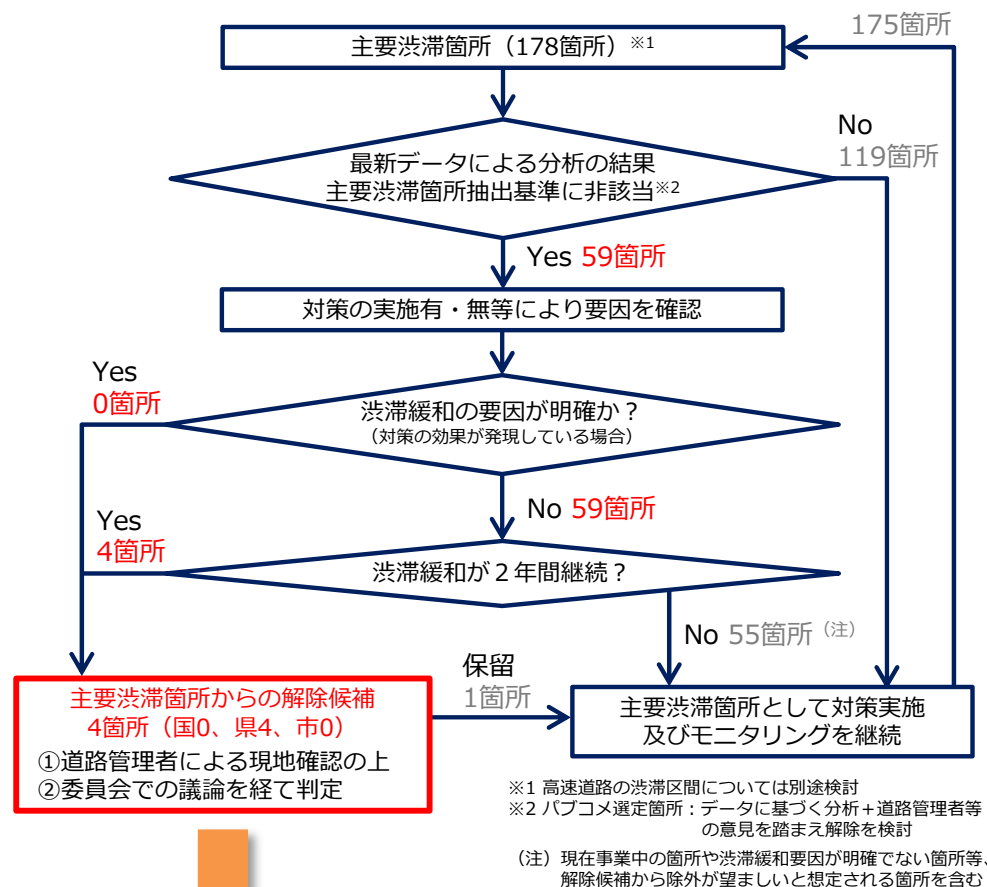
現地確認日：令和7年7月3日

5. 主要渋滞箇所の解除・追加【5-2. 昨年度抽出した箇所の解除・追加方針】

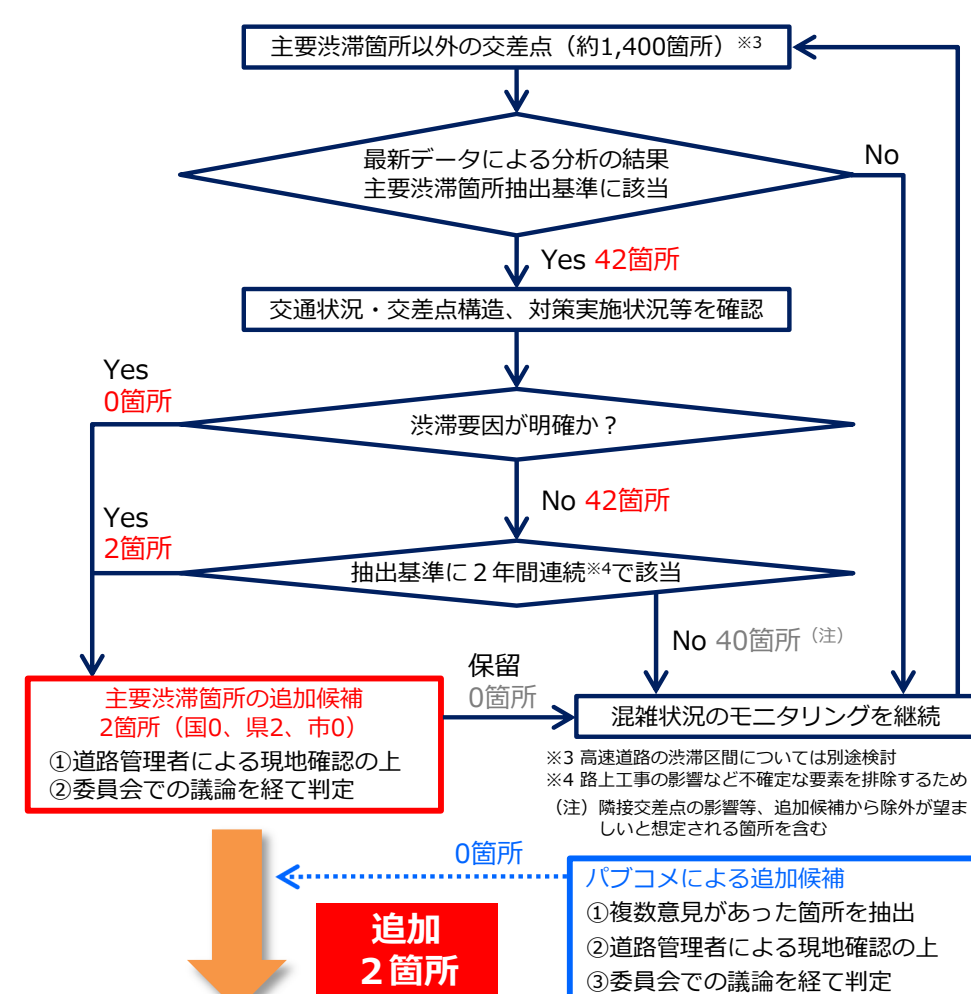
(5) 主要渋滞箇所の見直し結果（令和6年度指定）

- データ分析結果および現地確認結果を踏まえ、解除3箇所、追加2箇所とする。
- 今後も引き続き渋滞対策を推進し、渋滞損失時間の削減に努める。

【主要渋滞箇所の解除フロー】



【主要渋滞箇所の追加フロー】



令和6年度指定 主要渋滞箇所

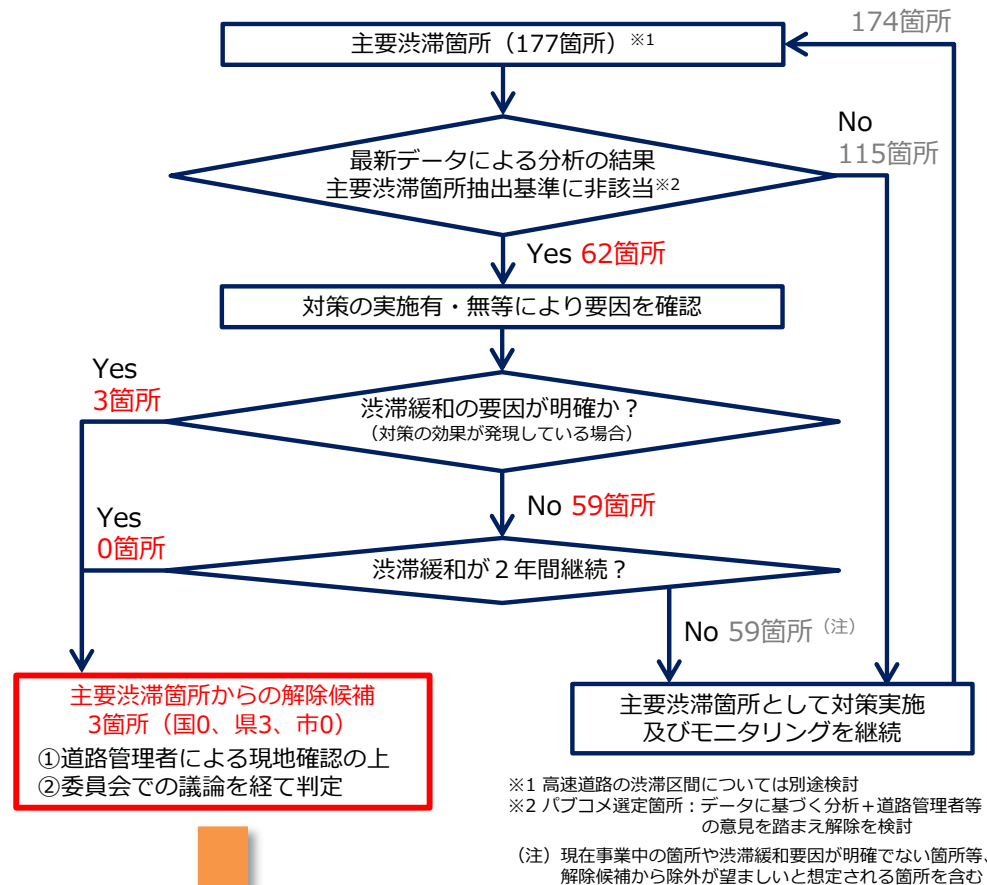
見直し前178箇所 → 見直し後177箇所

5. 主要渋滞箇所の解除・追加【5-3. 今年度新たに抽出した箇所の概要】

(1) 解除・追加候補箇所の抽出結果（令和7年度指定）

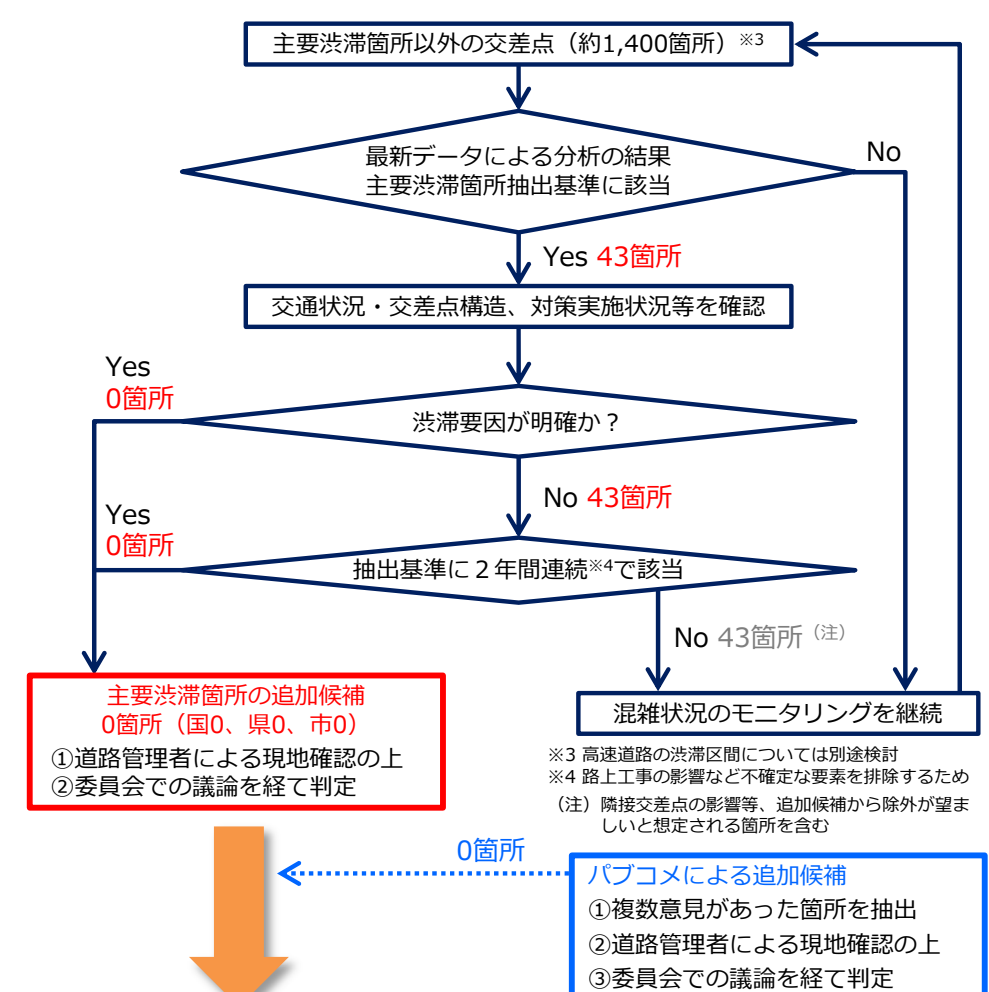
- 主要渋滞箇所の解除・追加フローに基づき、最新データ(令和6年)を用いて、今年度新たに解除候補3箇所を抽出。(追加候補箇所は、該当なし)

【主要渋滞箇所の解除フロー】



令和7年度指定 解除候補箇所：3箇所

【主要渋滞箇所の追加フロー】



令和7年度指定 追加候補箇所：0箇所

(2) 令和7年度 解除候補箇所の概要

- 今年度、解除候補として抽出した3箇所については、いずれも対策実施済み。
- 対策実施により、渋滞損失時間が基準値以下となっていることを確認したことから解除を検討。
- 今後、データ分析結果を補完するため現地確認を行い、実際の渋滞状況や解除の妥当性等を検証する。

【主要渋滞箇所の抽出条件】

基準①：渋滞損失時間80万人時間/年以上

基準②：渋滞損失時間180人時間/時以上

基準③：渋滞損失時間県内累計上位50%以上かつ最低旅行速度20km/h以下

基準④：休日または冬期データで基準③に該当 かつ 冬期速度低下率0.8以下

解除フロー 該当状況	No.	路線名	交差点名	市町村	選定 年度	選定基準 (当初)	分析 データ	抽出基準該当状況の判定に用いる指標値						混雑緩和要因／解除理由
								【参考】H24選定時		R5		R6		
								渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	渋滞損失 (人時間/日)	最低速度 (km/h)	
								基準値:373	基準値:20	基準値:367	基準値:20	基準値:354	基準値:20	
渋滞緩和が 2年継続	①	一般国道471号	泉町交差点	小矢部市	H24	抽出基準③ (意見照会)	秋期平日	134.2	19.8	226	11.7	194	18.8	➤「交差点改良(右折相当幅の確保)」の完了に伴う渋滞緩和。
	②	(主)富山立山公園線	利田曾我交差点	立山町	H24	抽出基準④ (冬期)	冬期平日	446.2	20.0	349	21.2	330	22.4	➤「富立大橋4車線化」の完了に伴う渋滞緩和。
	③	一般国道415号	中田交差点	富山市	H24	抽出基準③	秋期平日	458.2	16.3	339	17.5	354	13.8	➤「富山東バイパス」の完了に伴う渋滞緩和。

【解除候補箇所 位置図】

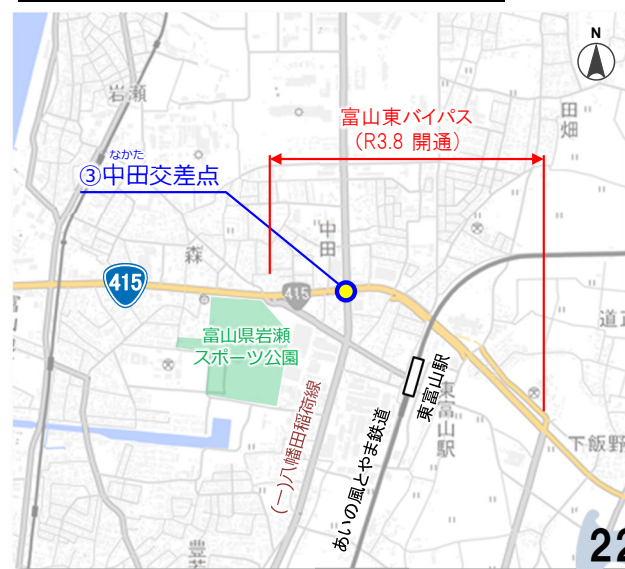
① 一般国道471号 いずみちょう 泉町交差点



② (主)富山立山公園線 り た そ が 利田曾我交差点



③ 一般国道415号線 な か た 中田交差点



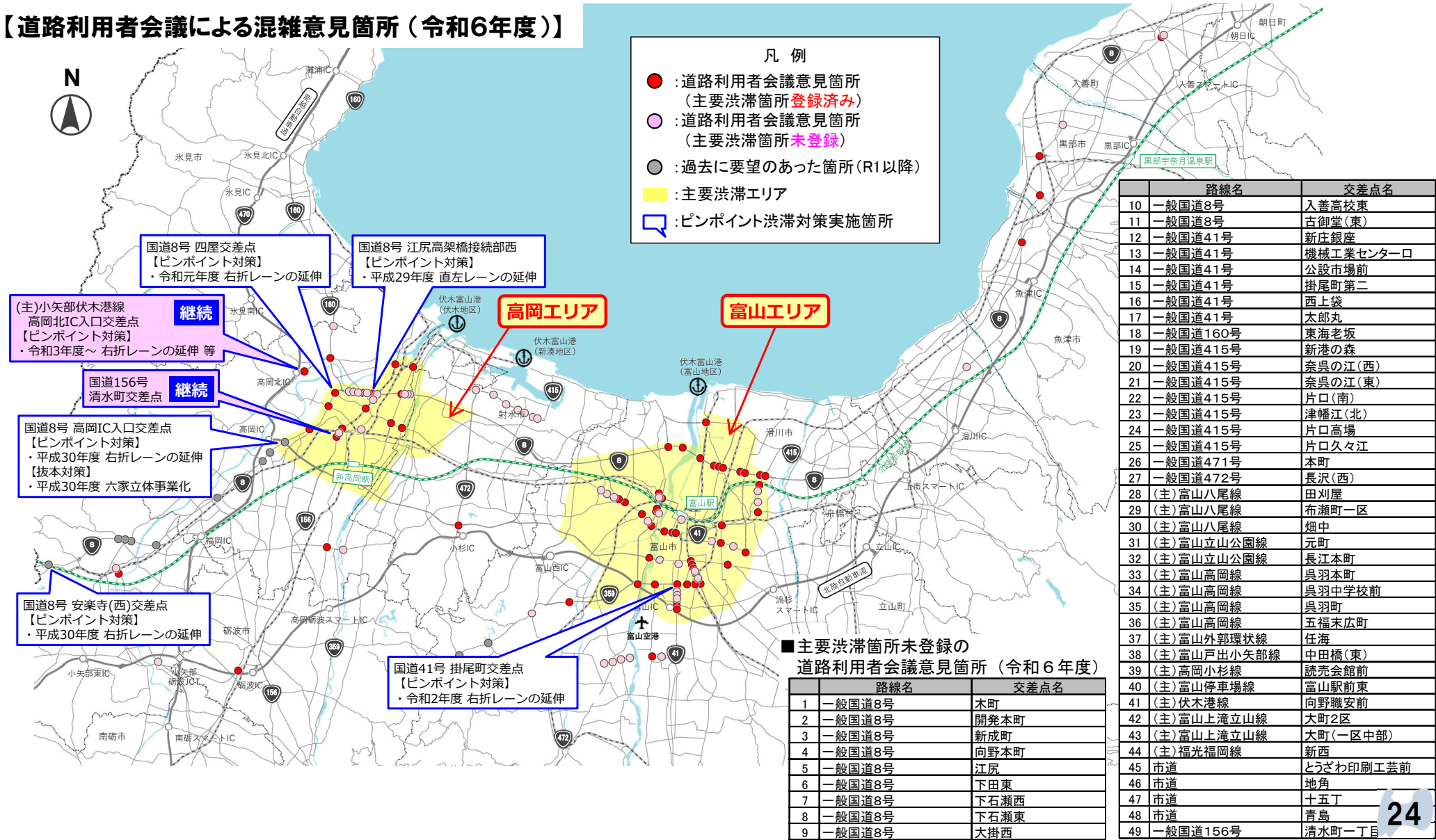
6. ピンポイント渋滞対策の検討

6. ピンポイント渋滞対策の検討

(1) ピンポイント渋滞対策の検討対象箇所

- 昨年度の道路利用者会議では、「全117箇所」について混雑意見が寄せられたが、新規の意見箇所は無し。
- 令和3年度より対策を進めている「高岡北IC入口交差点」については、追加対策にむけ、対応方針を検討中。
- 令和6年度に対策候補箇所を選定した「国道156号 清水町交差点」は、対策内容検討に向け渋滞要因分析を実施中。

【道路利用者会議による混雑意見箇所（令和6年度）】



6. ピンポイント渋滞対策の検討

(2) 「(主)小矢部伏木港線 高岡北IC入口交差点」の検討経緯

※令和6年度委員会 資料P28に追記

- 昨年度委員会以降、追加対策の実施に向け検討を進めていたが、令和6年能登半島地震の発生により、交差点付近の交通状況が大きく変化したものと想定される。
- 今後、現在の交通状況を把握するため、改めて現地調査を行い、追加対策の必要性等を再検証予定。⇒ **今回報告**

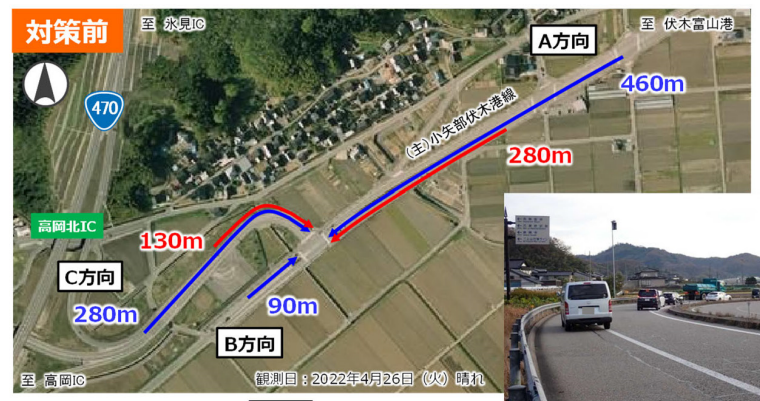
2) 対策後の交通状況と今後の予定

※令和5年度委員会 資料P17に追記

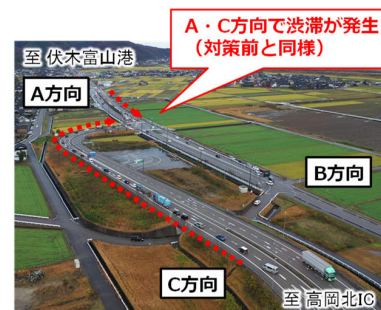
- 令和4年度は、「右折レーン延伸(能越道ランプ側)」および「信号現示改良」を実施。
- 対策後、渋滞長は縮小したものの、依然として「A方向」および「C方向」において渋滞の発生を確認。
- 今後、引き続き関係機関と連携しながら、信号現示の再調整等の追加対策を検討・実施予定。

【対策前後の渋滞状況】

→ : 最大滞留長 → : 最大渋滞長

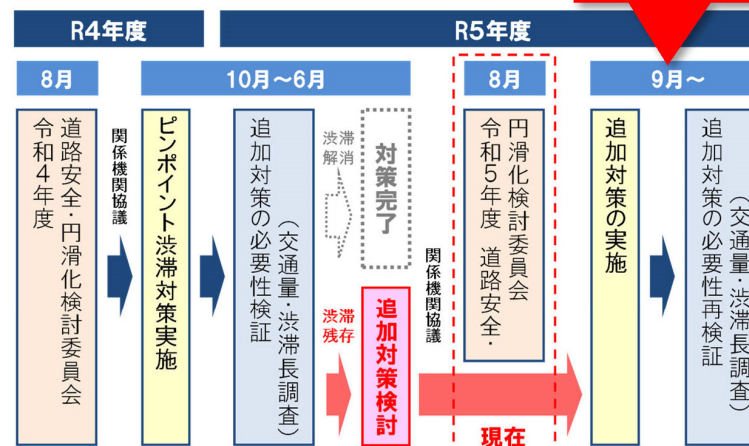


【対策後の現地状況】



【これまでの経緯と今後のスケジュール】

令和6年能登半島地震の発生により交通状況が変化



6. ピンポイント渋滞対策の検討

(3) 「(主)小矢部伏木港線 高岡北IC入口交差点」の対策方針(案)

※令和7年度委員会(事故関係) 資料P17に追記

4. 令和7年度 事故危険区間の追加箇所の選定

(参考) 令和6年度事故危険区間追加箇所「能越自動車道 高岡北IC入口交差点」の進捗状況

- ① 昨年度は、現況調査の他、道路利用者からの声を踏まえ危険挙動の確認を実施。
その結果、追突事故の要因となっている渋滞の他、Uターン車両を多数確認。
- ② 今後は、「ICランプ部の車道拡幅」「交差点常時左折可」「県道側の右折滞留長延伸」を計画予定。

《位置図》



図4-7 位置図

《危険挙動確認》

① 道路利用者からの声

地元住民

<要望>

左折レーンで待つのが嫌で右折していきなりUターンする車があり、とても危険。

② Uターン車両計測

・朝20分観測して10台計測
⇒ 1回の信号で1台発見するペース



※令和6年11月20日

依然として朝・夕を中心に渋滞が発生

《現況調査》

① 交通量の確認

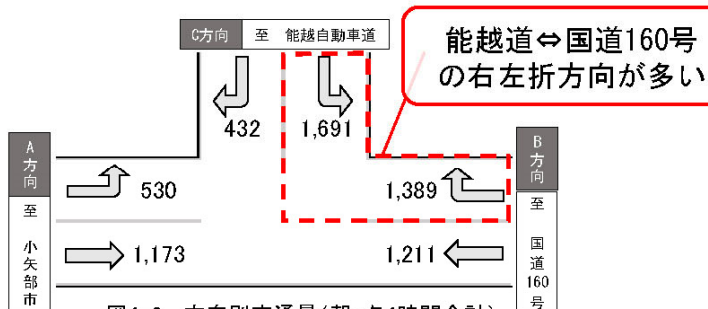


図4-8 方向別交通量(朝・夕4時間合計)

② 渋滞の確認

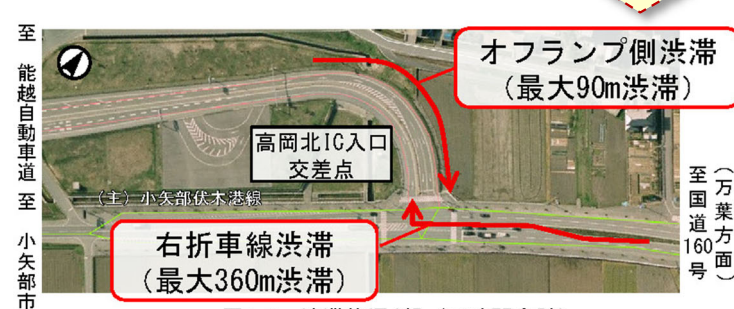


図4-9 渋滞状況(朝・夕4時間合計)

※令和6年10月9日交通量調査結果

《計画予定》

- ① ICランプ部の車道拡幅
- ② 交差点常時左折可
- ③ 県道側の右折滞留長延伸

※現在検討中のものであり、今後変更となる場合があります。

安全性向上に加え、渋滞緩和にも寄与

7. TDM(交通需要マネジメント)の取り組み

7. TDM(交通需要マネジメント)の取り組み

(1) 昨年度委員会における報告内容

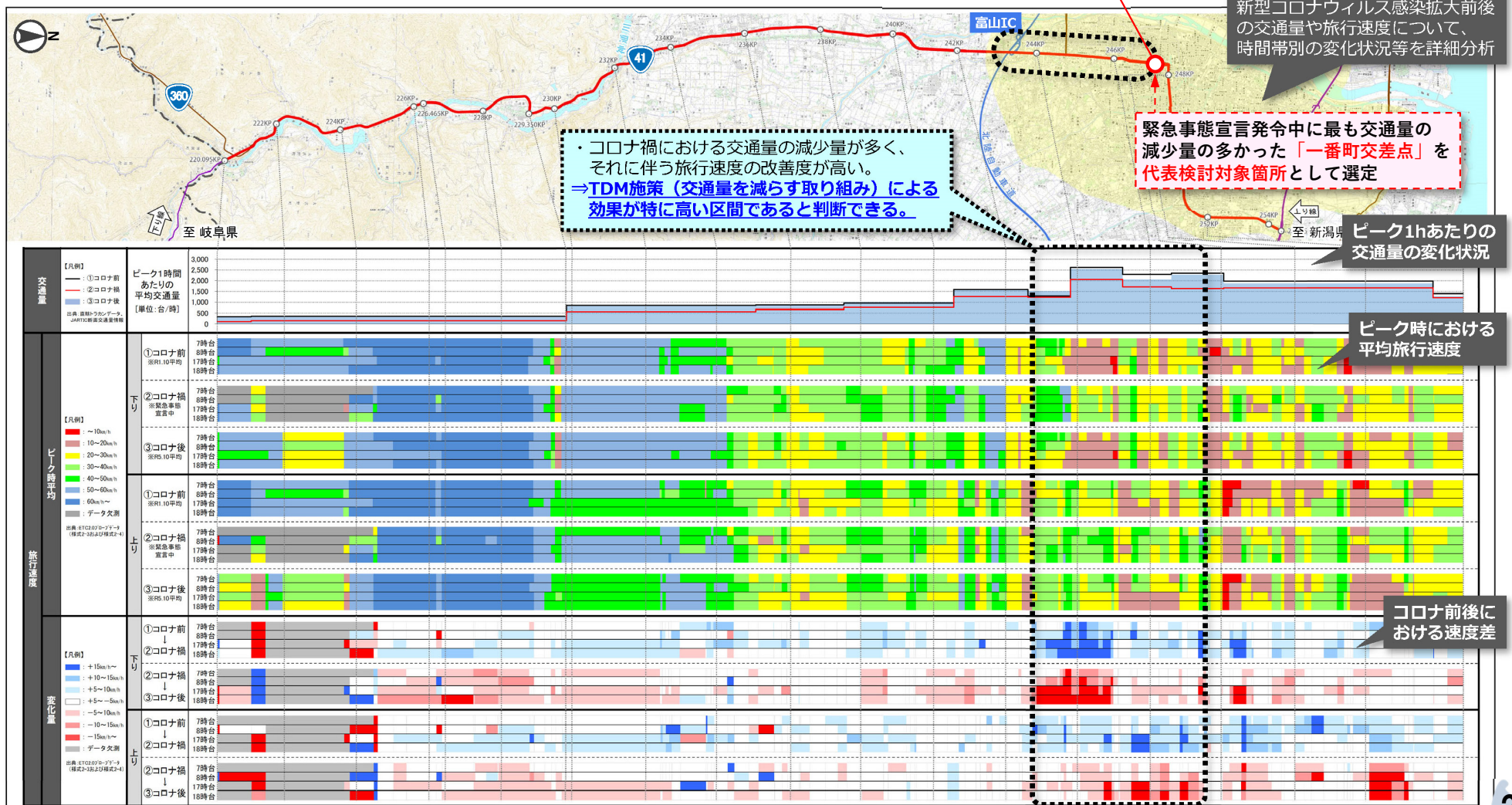
今回報告

※令和6年度委員会 資料P36に追記

- TDM施策の具体化に向け、現在、コロナ前後における交通量や旅行速度について時間帯別の変化状況等の詳細な分析を行っており、TDM施策実施により削減が期待される交通量や旅行速度向上効果等を検証中。
- 今後、分析結果や現地確認等を踏まえ、TDM施策実施による交通量の削減目標を設定する他、車両の出発地や目的地、走行経路等を分析することで、行動変容を促す対象や具体的な施策内容等の検討を進める予定。

【コロナ前後における交通状況の変化分析イメージ(分析事例：国道41号)】

国道41号 一番町交差点



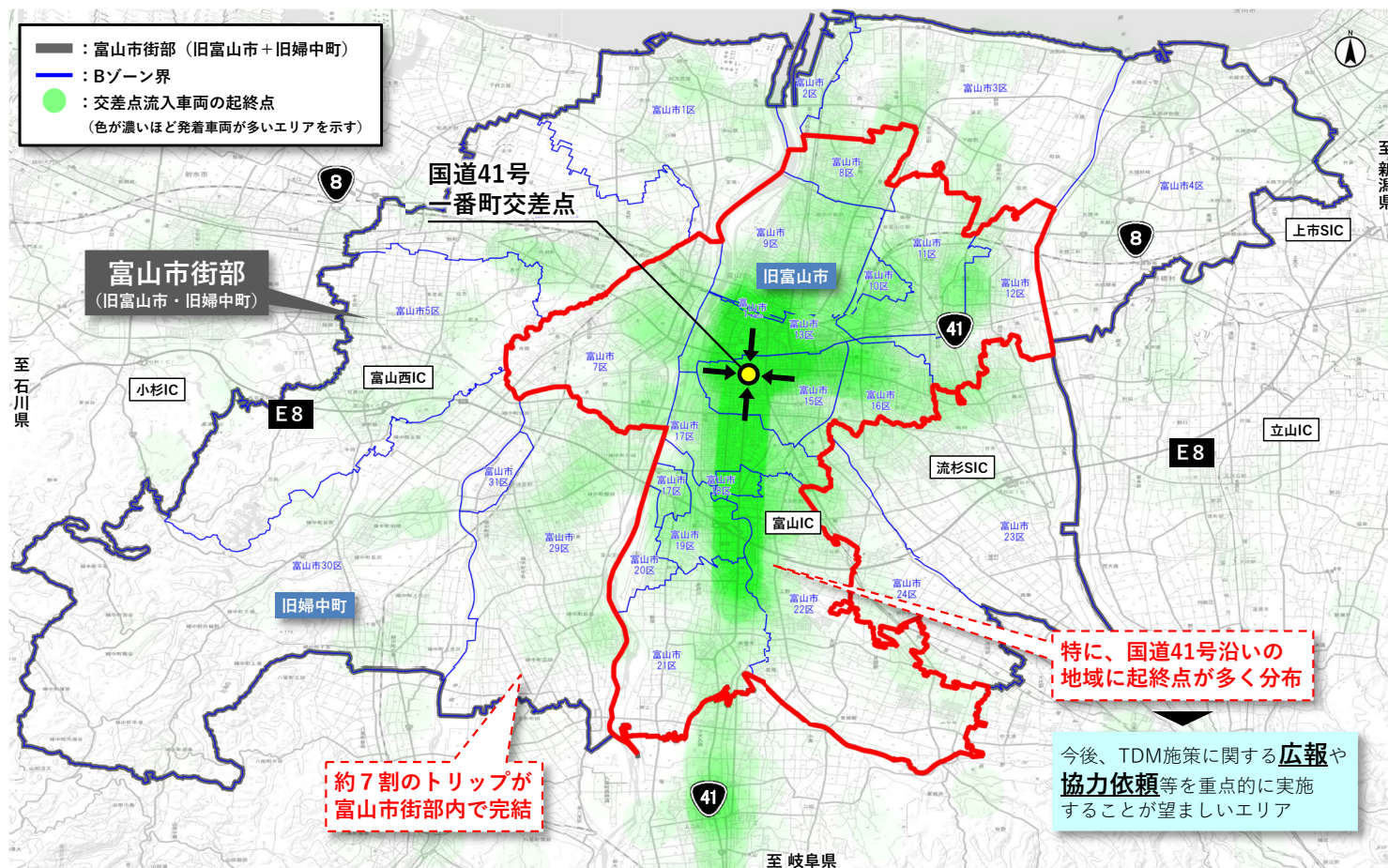
7. TDM(交通需要マネジメント)の取り組み

(2) 検討状況に関する中間報告(施策対象エリアに関する検討)

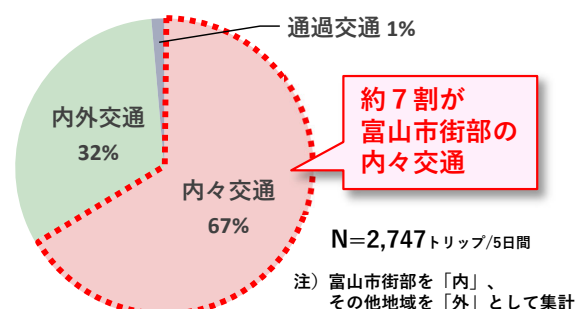
※本検討においては、「富山市街部=旧富山市+旧婦中町」と定義

- 代表検討対象箇所として選定した「国道41号 一番町交差点」に流入する車両の交通特性を分析。
- 当該交差点に流入するサンプルは、全体の約7割が富山市街部※の内々交通となっており、富山市街部内で完結する短トリップが多い。この結果から、TDM施策の対象とすべきエリアは、富山市街部※とすれば大半のサンプルをカバーすることでき、十分な効果が得られるものと推定される。
- 今後はTDM施策の具体化に向けて、人流ビッグデータを活用し、詳細なODデータや交通手段、移動目的等进行分析。

【代表検討対象箇所(国道41号 一番町交差点)に流入する車両の発着地分布】



【OD内訳(4方向計)】



着 (Destination)	発 (Origin)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		県内									
		富山市 市街部 旧富山市 旧婦中町	その他	高岡・ 射水地域	砺波・ 小矢部地域	新川地域	新潟県方面	石川県方面	長野県方面	岐阜県方面	
1	富山市 市街部	61%	1%	4%	2%	2%	0%	3%	0%	1%	
2	富山市 旧婦中町	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
3	県内 その他	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
4	高岡・射水地域	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
5	砺波・小矢部地域	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
6	新川地域	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
7	新潟県方面	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
8	石川県方面	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
9	長野県方面	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
10	岐阜県方面	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

■：内々交通 ■：内外交通 ■：通過交通

【分析条件】

- ・使用データ：ETC2.0プローブデータ 様式1-2
- ・集計期間：R5.10.16(月)～R5.10.20(金)【5日間】
- ・時間帯：平日ピーク時間帯(7～9時および17～19時の合算)
- ・対象箇所：国道41号 一番町交差点(交差点流入4方向)
- ・対象車両：小型車(通勤・通学を目的とする車両を想定)
- ・地域区分(富山市以外)
 - 高岡・射水地域：高岡市、氷見市、射水市(3市)
 - 砺波・小矢部地域：砺波市、小矢部市、南砺市(3市)
 - 新川地域：県南西部：魚津市、滑川市、黒部市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町(8市町村)

今後は、TDM施策のさらなる具体化に向けて、人流ビッグデータを活用し、詳細なODデータや交通手段、移動目的といった分析を通じて、より効果的な施策の検討を進めていく予定

8. 災害時の交通マネジメント

8. 災害時の交通マネジメント

令和7年2月4日からの寒波について

- 北陸地方の各地では2月4日から大雪となり、管内では集中除雪のため高速道路と直轄国道の同時通行止めを実施。
- 予防的通行規制の実施にあたっては、SNSや記者発表等により早めの情報提供・注意喚起を行うことで行動変容を促し、大規模の車両滞留を未然に防ぐことで、速やかな除雪作業および早期の通行止め解除を実現。

【予防的通行規制状況（直轄国道、のと里山海道、高速道路）】

出典：令和6年度 今冬の記録

【SNSや記者発表を活用した情報提供】



大雪に関する緊急発表

発信元 国土交通省 北陸地方整備局 国土交通省 北陸信越運輸局
気象庁 新潟県 富山県 石川県 日本道路建設株式会社 新潟県建設局

令和7年2月2日 16:00
記者発表

《緊急》 北陸地方では2月4日から大雪の可能性があります

【気象の見通し】
○2月4日から7日頃にかけて冬の気圧配置が強まり、北陸地方の上空にはこの冬一番の強い寒気が流れ込む見込みです。北陸地方では4日から7日頃にかけて大雪となり、5日は平地を含めて警報級の大雪となる所があるでしょう。大雪・ふぶきや路面の凍結による交通障害に注意・警戒してください。なお、7日以降も降雪が続く可能性がありますので、最新の気象情報の確認をお願いします。

○大雪の日には外出を控えていただく行動予定の変更（前倒しや後ろ倒し）をお願いします。

○降雪状況によっては高速道路や直轄国道の通行止めを行う可能性があります。直轄国道については予防的通行規制区間やそれ以外の区間でも通行止めの可能性があります。

○大型車は冬用タイヤの装着に加えてチェーン（装着）をお願いします。また、降雪地域を避けた通行ルートの見直しにご協力をお願いします。

○車両滞留の原因が運送事業者による悪質な行為である場合には運送事業者への監査を行い、講じた措置が不十分と判断されれば行政処分の対象となる場合があります。

○やむを得ず外出する場合は十分な冬装備をして頂き、最新の気象情報、道路情報を確認してください。

※北陸地方：北陸地方整備局管内（新潟県、富山県、石川県）

その他：今回の緊急発表に関する共同会見を2月3日（月）10時より実施します。
詳細は本日16時に記者発表しました。「緊急発表に伴う共同会見」をご覧ください。

【問い合わせ先】
国土交通省 富山河川国道事務所
@mit_toyama

【道路情報】2/7（金）23:20時点、国道8号小矢部市桜町～津幡町舟橋JCTの通行止めを実施していますのでお知らせします。

こちらのサイト（日本道路交通センター）でも確認できます。
jartic.or.jp

③ 予防的通行規制区間 一般国道8号「小矢部」

【大雪への対応状況】



9. 今後の進め方について

9. 今後の進め方について

■ 今後の検討委員会の進め方

